

第 48 回 景気動向アンケート報告 (2017 年 5 月～8 月)

《今期の DI 値は+12 で前年同期比±0、来期は+16 で前年同期比+1 予測》

■全体的業況判断(DI) DI 計算方法=[(良いとする企業数-悪いとする企業数)÷回答企業数の%]

※ ()内の数字は前年同期比の増減

年	1～4 月	5～8 月	9～12 月	年 3 期平均値
2013	+8(▲11)	+16(+10)	+26(+22)	+16.7(+11.1)
2014	+24(+16)	+9(▲7)	+6(▲20)	+13.0(▲3.7)
2015	+12(▲12)	+5(▲4)	+24(+18)	+13.7(+0.7)
2016	前年同期+11(▲1)	+12(+7)	前期+15(▲9)	+12.7(▲1.0)
2017	今期+24(+13)	+12(±0)	来季予測+16(+1)	

① 全体業況判断

今期(2017 年 5～8 月期) DI+12 で前年同期の DI+12 と同値を示した。来期(2017 年 9～12 月)の予測 DI は+16 で前年同期比+1 ポイントアップの予測

② 全体売上

今期(2017 年 5～8 月期) DI+16 で前年同期の DI+10 と比べ 6 ポイントのアップ。来期(2017 年 9 月～12 月)の予測 DI は+25 で前年同期比 9 ポイントアップの予測

③ 全体収益

今期(2017 年 5～8 月期) DI+7 で前年同期の DI+4 と比べ 3 ポイントのアップ。来期(2017 年 9 月～12 月)の予測 DI は+15 で前年同期比+16 ポイントアップの予測

④ 全体資金繰り

今期(2017 年 5～8 月期) DI+16 で前年同期の DI+10 と比べ 6 ポイントのアップ。来期(2017 年 9 月～12 月)の予測 DI は+11 で前年同期比+18 ポイントアップの予測

⑤ 業種別業況について

業種別で前年同期比の高い順に観ると、建設業(DI±0→+14)、対事業サービス業(DI+28→+42)対個人サービス業(DI+25→+25)、卸売業(▲50→▲50)、製造業(±0→▲8)、小売業(±0→▲50)という結果が出た。

⑥ 総評

以上の結果から全業種を通して言えることは、「業況が良い」と答える企業家が「業況が悪い」と答える企業家を相変わらず上回っており、しかも 15 期連続している。しかし、それを実感出来ていないと見ている人は多いはずだ。今後の経済の動向は、北朝鮮問題や衆議院選挙、更にはアメリカのトランプ大統領による“アメリカ第一主義”など、経済に影響しかねない要素が目の前に転がっている。となると設備投資を前向きに考える企業家は少なくなるはず。

今回の景気動向調査結果で、業況 DI 値を前年同期と比較し業種別に目を向けて見ると、“対事業所サービス業”と“建設業”は「業況が良い」と答える企業家が若干多くなったものの、“卸売業”“製造業”“対個人サービス業”は変わらない、またはやや少なく、“小売業”は厳しい結果となった。個人消費が大きく減少しているとは思えないことから大型流通店、ネット販売などの状況が気になるところだ。

⑦ 経営上の問題点

”受注競争の激化”が前回（第47回）に引き続き2位と高い。その前の第46回、第45回はベスト3にも入っていなかった。但し、第44回以前は第41回まで見る限り1位や2位だった。

⑧ 経営上の力点

人材確保が前回の3位から2位へと相変わらず高い。（経営上の問題点）の質問項目でも”その他”の欄に「職人不足」や「人事制度」、「採用後の短期戦力化」などの記入があり、今回のアンケートは人材部分を訴える声が多かった。

⑨ 同友会会員の皆様方へ

景気動向調査部会の今回アンケートの質問項目に「景気動向調査についての考え方やご意見、ご要望」をお尋ねしましたところ、多くのご意見を頂くことができました。景気動向調査部会の会員一同心より感謝申し上げます。実は、アンケートの返答数を上げたいと思ったことが、大きなきっかけとなりました。頂きました個々のご意見を部会で協議しまして以下の取組みをやろうという結論に至りました。

- ・景気動向調査部会で例会を実施する計画の立案
- ・業種ごとにオブザーバーをご招待し、業種ならではの意見を拝聴する
- ・現在のアンケートで業種区分の内容について見直し検討する

皆様の経営にお役に立てる「景気動向調査部会」を目指しまして今後とも努力致します。これからもご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

政策委員会 景気動向調査部会
政策委員長 黒木 京子

1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業（462社）
2. 対象期間 2017年5月～8月期実績、2017年9月～12月見通し
3. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
4. 調査期間 2017年9月11日～9月28日
5. 回答企業数 81社より回答を得た（回答率17.5%）

景気動向調査アンケート(第48回)

(今期は2017年5月～8月です)

☆ この調査は全会員の皆様に送っております。結果は10月に全会員に公開いたします。

☆ 尚、個々の調査データ内容は一切公表せず、集計担当者と事務局で保管いたします。(政策委員会)

☆ このアンケートは、e.doyuでも実施しています。そちらでご回答いただいた場合はこのFAXでのご回答は必要ございません。

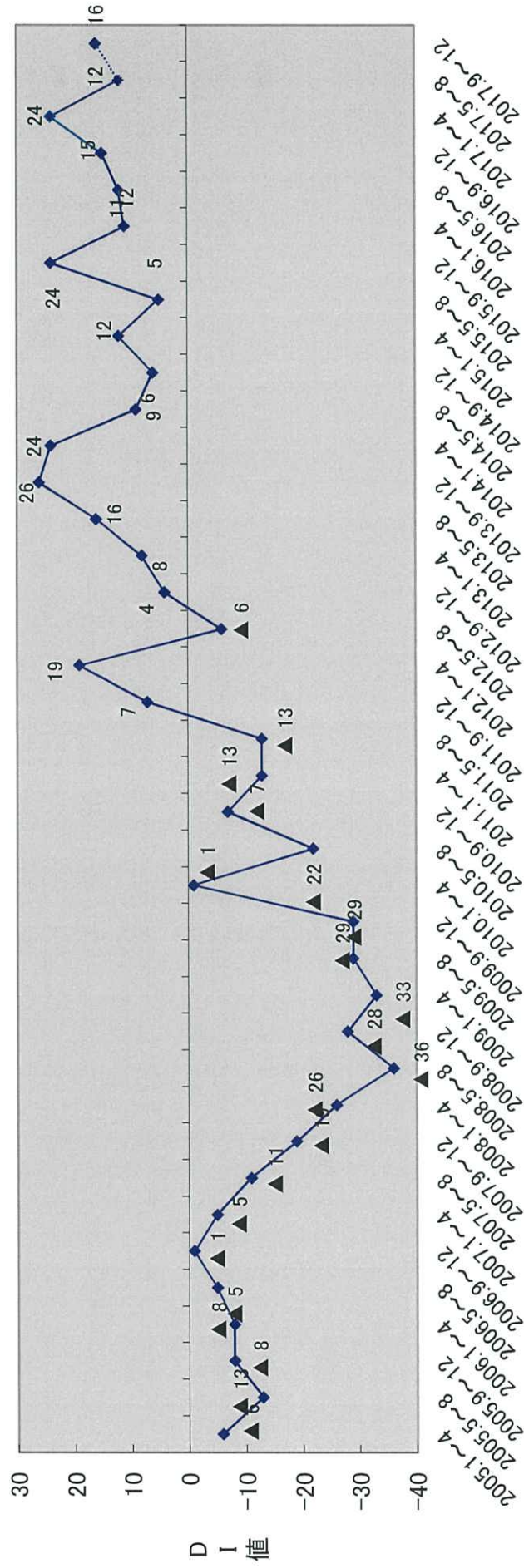
締め切り 9月22日(金)

氏名		企業名	
(1) あなたの会社の状況についてお答えください。 (該当するものに○印をつけてください)		業種	1、製造業 2、建設業 3、卸売業 4、小売業 5、サービス業 (a:対事業所向け b:対個人向け) 6、農水産業 事業内容 ()
	(今期) 2017年5月～8月の実績		(来期) 2017年9～12月の見通し
1、業況	良い 変わらず 悪い		良い 変わらず 悪い
	今期の業況について、前期(2017年1月～4月)と比較してお聞かせ下さい。 ①好転 ②横ばい ③悪化		
2、売上	良い 変わらず 悪い		良い 変わらず 悪い
3、収益	良い 変わらず 悪い		良い 変わらず 悪い
4、資金繰り	良い 変わらず 悪い		良い 変わらず 悪い
(2) 経営上の問題点(上位2つまで選び、番号に○をつけてください) 1、価格競争の激化 2、受注競争の激化 3、売上の減少 4、事業資金の借入難 5、仕入価格の上昇 6、人件費の増加 7、管理費等間接費の増加 8、金利負担の増加 9、従業員の不足 10、税負担の増加 11、その他 ()			
(3) 経営上の力点はどこに置かれていますか(下記の上位2つまで選び番号に○をつけてください) 1、付加価値の増大 2、新規受注(顧客)の確保 3、新規事業の展開 4、得意分野の絞込み 5、人件費削減 6、人件費以外の経費節減 7、財務体質の強化 8、機械化促進 9、情報力強化 10、人材確保 11、社員教育 12、研究開発 13、機構改革 14、その他 ()			
(4) 景気動向調査についてお尋ねします。 景気動向調査部会ではこれまで47回の景気動向調査を実施してきました。今後の活動やアンケートの参考に景気動向調査についての考えやご意見、ご要望等をお尋ねしたいと思います。記入欄にご記入をお願いします。			
【記入欄】			
景気動向調査への考え			
[.....]			
景気動向調査へのご意見			
[.....]			
景気動向調査へのご要望			
[.....]			

ご協力ありがとうございました。

返信はFAXで同友会事務局(FAX⇒099-259-4838)までお願いします。

全体の業況



全体

今期の業況は「良い」27.2%、「変わらず」58.0%、「悪い」14.8%でD.I.12となっており、前期から大きく下降しております。
来期の業況はD.I.16と少し上昇する見通しです。



今期の売上は「良い」32.1%、「変わらず」51.9%、「悪い」16.0%でD.I.16となっており、前期に比べ大きく下降しております。
来期の売上はD.I.25で上昇する模様です。



今期の収益は「良い」23.5%、「変わらず」60.5%、「悪い」16.0%でD.I.7となっており、前期から大きく下降しています。
来期の収益はD.I.15と上昇する模様です。



今期の資金繰りは「良い」24.7%、「変わらず」66.7%、「悪い」8.6%でD.I.16となっており、前期に比べて少し上昇しております。
来期の資金繰りはD.I.11と少し下降する模様です。



製造業

今期の業況は「良い」15.4%、「変わらず」61.5%、「悪い」23.1%でD.I.▲8となっており、前期から非常に大きく下降しています。
来期の業況はD.I.23と大きく上昇する模様です。



今期の売上は「良い」15.4%、「変わらず」61.5%、「悪い」23.1%でD.I.▲8となっており、前期から非常に大きく下降しています。
来期の売上はD.I.15と大きく上昇の見通しです。



今期の収益は「良い」15.4%、「変わらず」61.5%、「悪い」23.1%でD.I.▲8となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の収益はD.I.23と大きく持ち直す見通しとなっています。



今期の資金繰りは「良い」15.4%、「変わらず」69.2%、「悪い」15.4%でD.I.0となっており、前期に比べ下降しています。
来期の資金繰りはD.I.8と少し上昇の見通しとなっています。

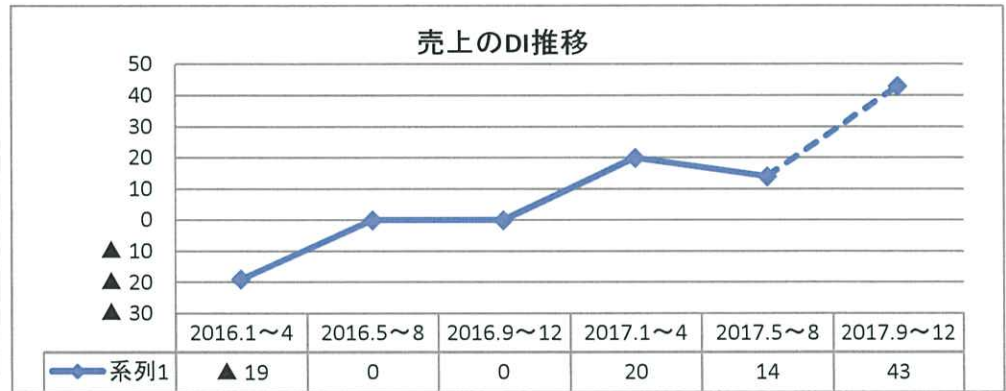


建設業

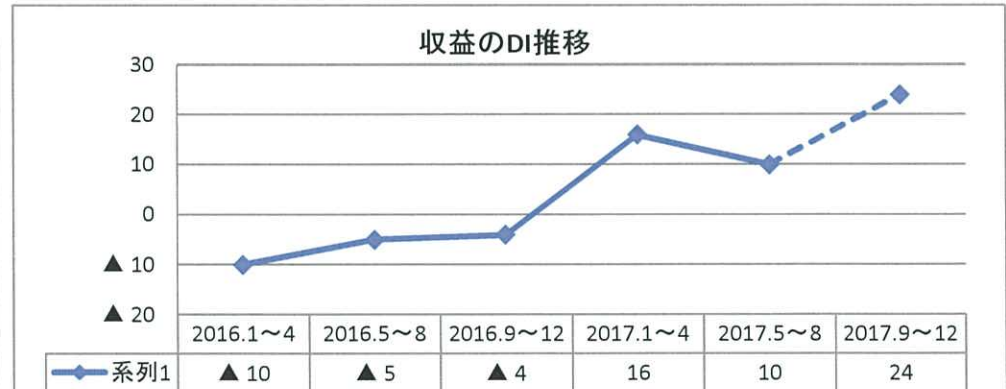
今期の業況は「良い」23.8%、「変わらず」66.7%、「悪い」9.5%でD.I.14となっており、前期に比べ下降しました。来期の業況はD.I.48と非常に大きく上昇する模様です。



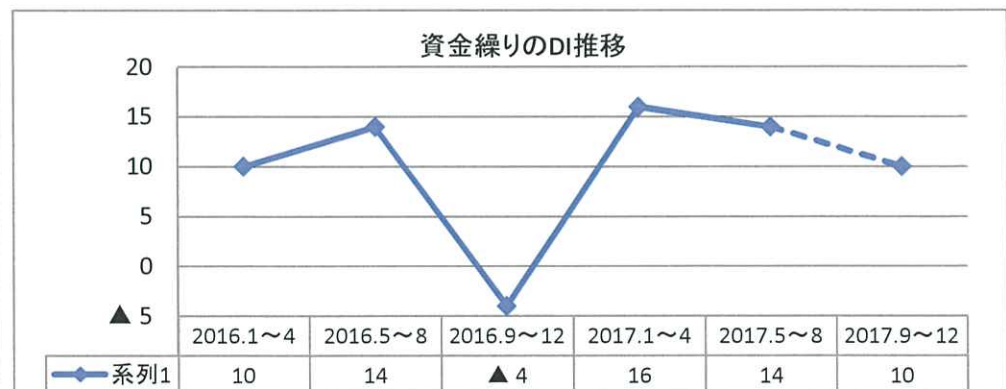
今期の売上は「良い」28.6%、「変わらず」57.1%、「悪い」14.3%でD.I.14となっており、前期から少し下降しました。来期の売上はD.I.43と大きく上昇する模様です。



今期の収益は「良い」23.8%、「変わらず」61.9%、「悪い」14.3%でD.I.10となっており、前期に比べ少し下降しています。来期の収益はD.I.24と今期から上昇する模様です。

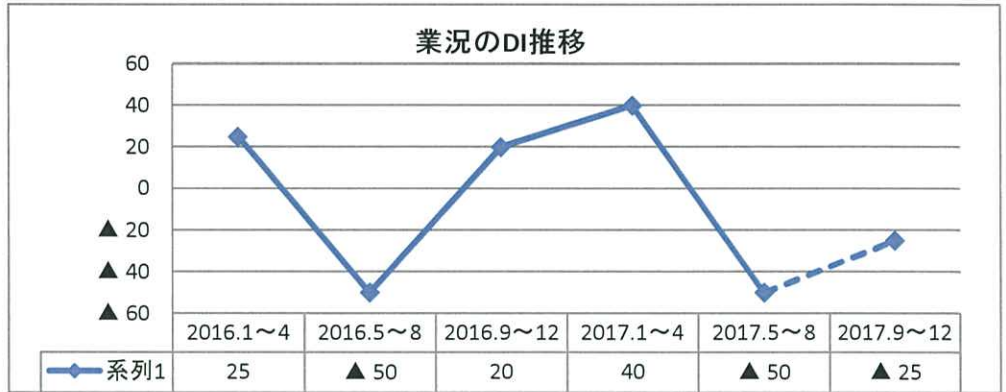


今期の資金繰りは「良い」19.0%、「変わらず」76.2%、「悪い」4.8%でD.I.14となっており、前期に比べわずかに下降しています。来期の資金繰りはD.I.10と引き続き下降する模様です。



卸売業

今期の業況は「良い」0%、「変わらず」50.0%、「悪い」50.0%でD.I.▲50となっており、前期から非常に大きく下降しています。
来期の業況はD.I.▲25と上昇する見通しとなっています。



今期の売上は「良い」0%、「変わらず」75.0%、「悪い」25.0%でD.I.▲25となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の売上はD.I.0と大きく上昇する模様です。



今期の収益は「良い」0%、「変わらず」75.0%、「悪い」25.0%でD.I.▲25となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の収益はD.I.0と大きく持ち直す模様です。

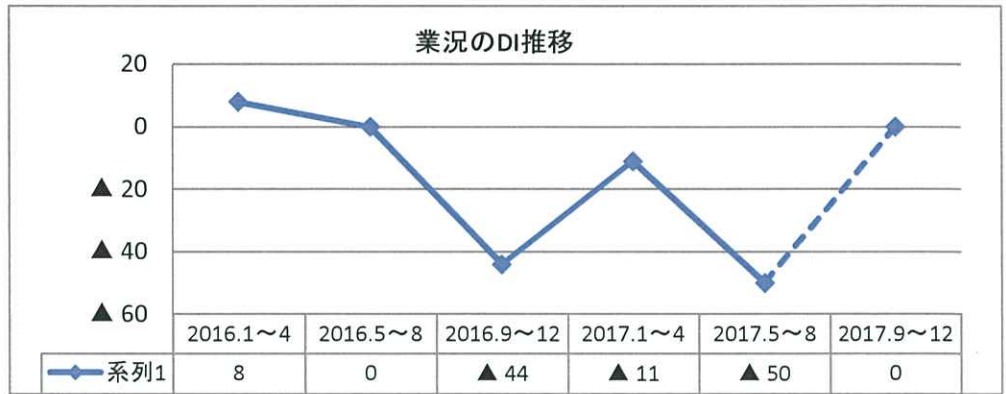


今期の資金繰りは「良い」0%、「変わらず」100.0%、「悪い」0%でD.I.0となっており、前期から大きく下降しています。
来期の資金繰りはD.I.0と今期と変わらない模様です。

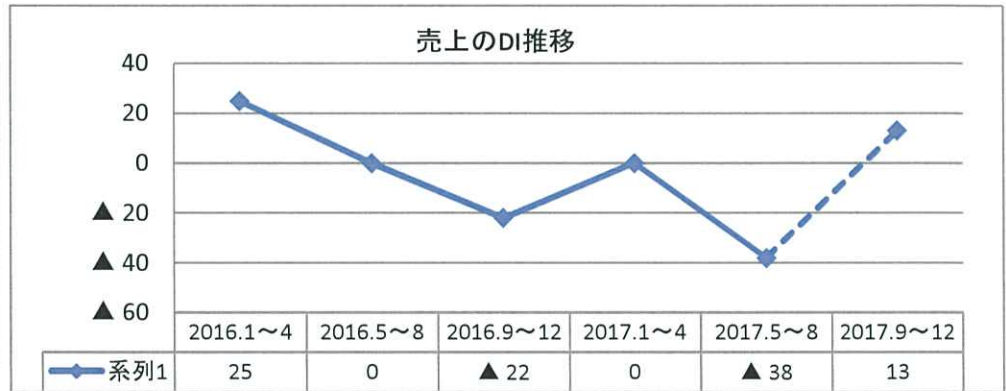


小売業

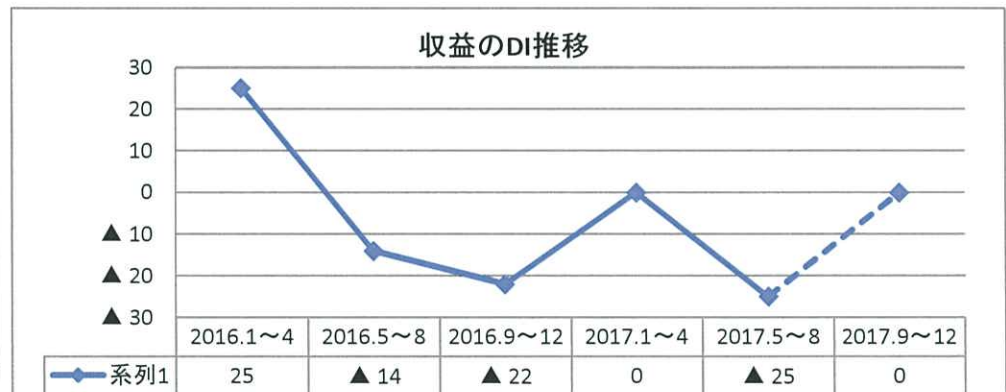
今期の業況は「良い」0%、「変わらず」50.0%、「悪い」50.0%でD.I.▲50となっており、前期に比べ非常に大きく下降しています。
来期の業況はD.I.0と反対に非常に大きく上昇する模様です。



今期の売上は「良い」12.5%、「変わらず」37.5%、「悪い」50.0%でD.I.▲38となっており、前期から大きく下降しています。
来期の売上はD.I.13と非常に大きく上昇の見通しです。



今期の収益は「良い」12.5%、「変わらず」50.0%、「悪い」37.5%でD.I.▲25となっており、前期に比べて大きく下降しています。
来期の収益はD.I.0と大きく上昇の見通しです。



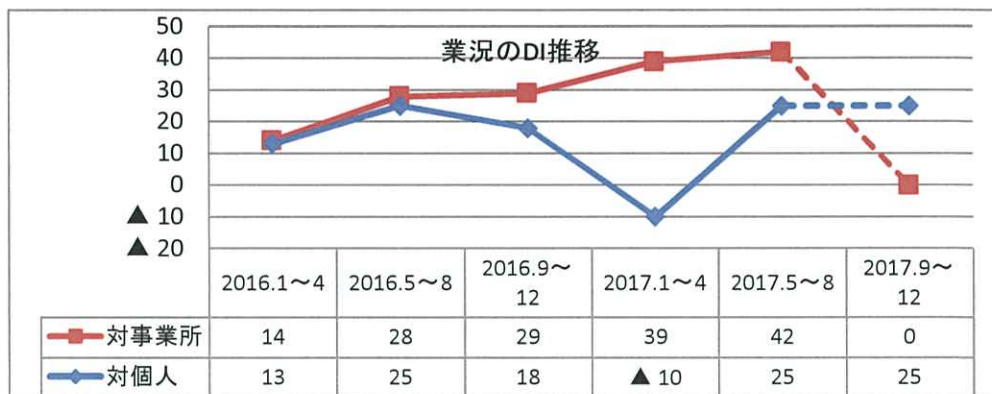
今期の資金繰りは「良い」12.5%、「変わらず」62.5%、「悪い」25.0%でD.I.▲13となっており、前期から下降しています。
来期の資金繰りは13大きく上昇する模様です。



サービス業

今期の対事業所向けの業況は「良い」45.2%、「変わらず」51.6%、「悪い」3.2%でD.I.42となっており、前期に比べわずかに上昇しています。来期の業況はD.I.0と非常に大きく下降する見通しです。

対個人向けは「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べ大きく上昇しています。来期はD.I.25と今期から変わらない見通しです。



今期の対事業所向けの売上は「良い」51.6%、「変わらず」41.9%、「悪い」6.5%でD.I.45となっており、前期に比べ少し下降しています。

来期の売上はD.I.23とさらに下降する見通しです。

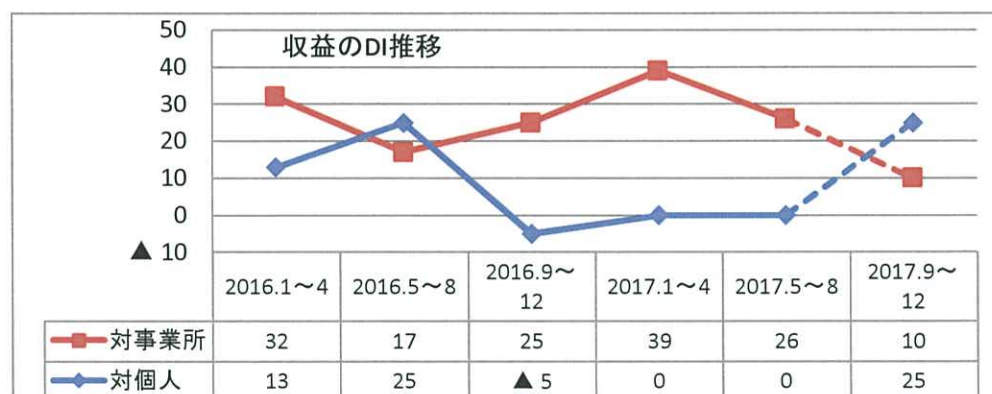
対個人向けは「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期と比べ非常に大きく上昇しています。来期はD.I.25と今期と変わらない見通しです。



今期の対事業所向けの収益は「良い」35.5%、「変わらず」54.8%、「悪い」9.7%でD.I.26となっており、前期に下降していません。来期の収益はD.I.10とさらに下降する見通しです。

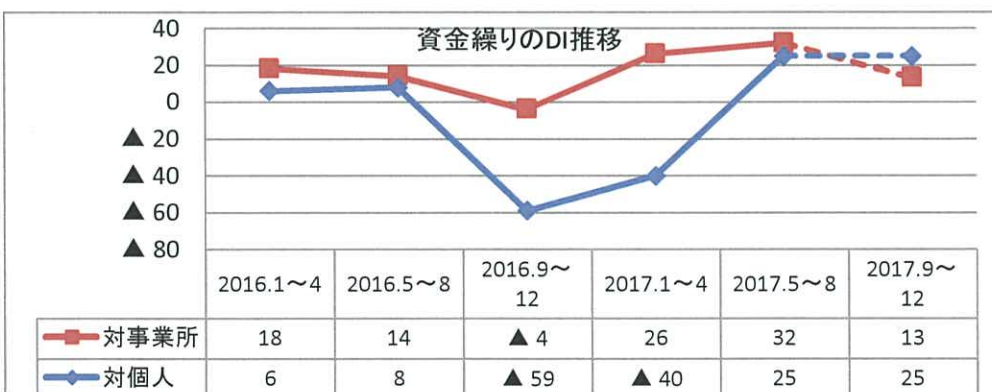
対個人向けは「良い」0%、「変わらず」100.0%、「悪い」0%でD.I.0となっており、前期と変わりませんでした。

来期はD.I.25と大きく上昇する見通しです。

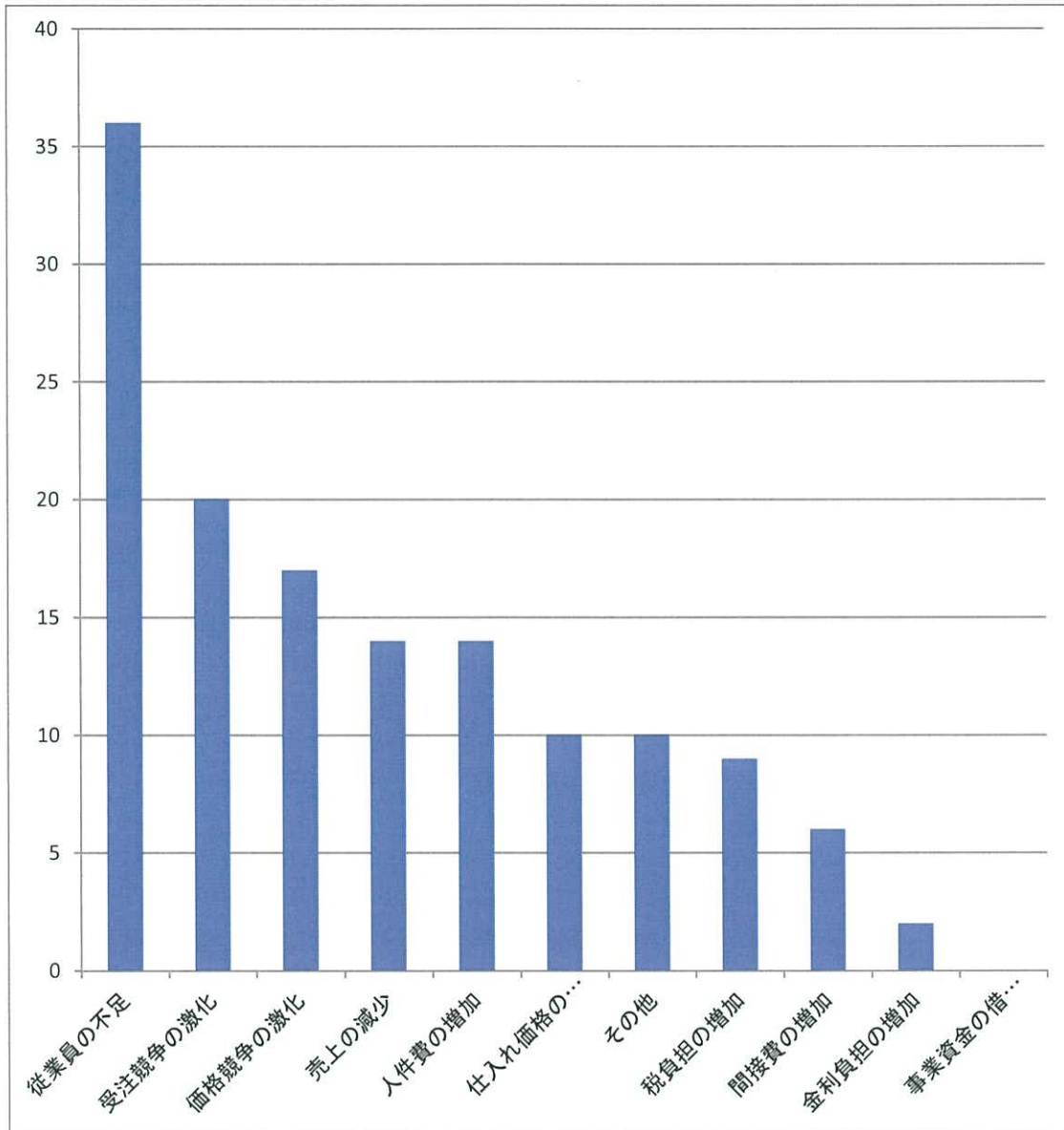


今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」38.7%、「変わらず」54.8%、「悪い」6.5%でD.I.32となっており、前期に比べ少し上昇しています。来期の資金繰りはD.I.13と下降する見通しです。

対個人向けは「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期から非常に大きく上昇しています。来期はD.I.25と今期と変わらない見通しです。



経営上の問題点

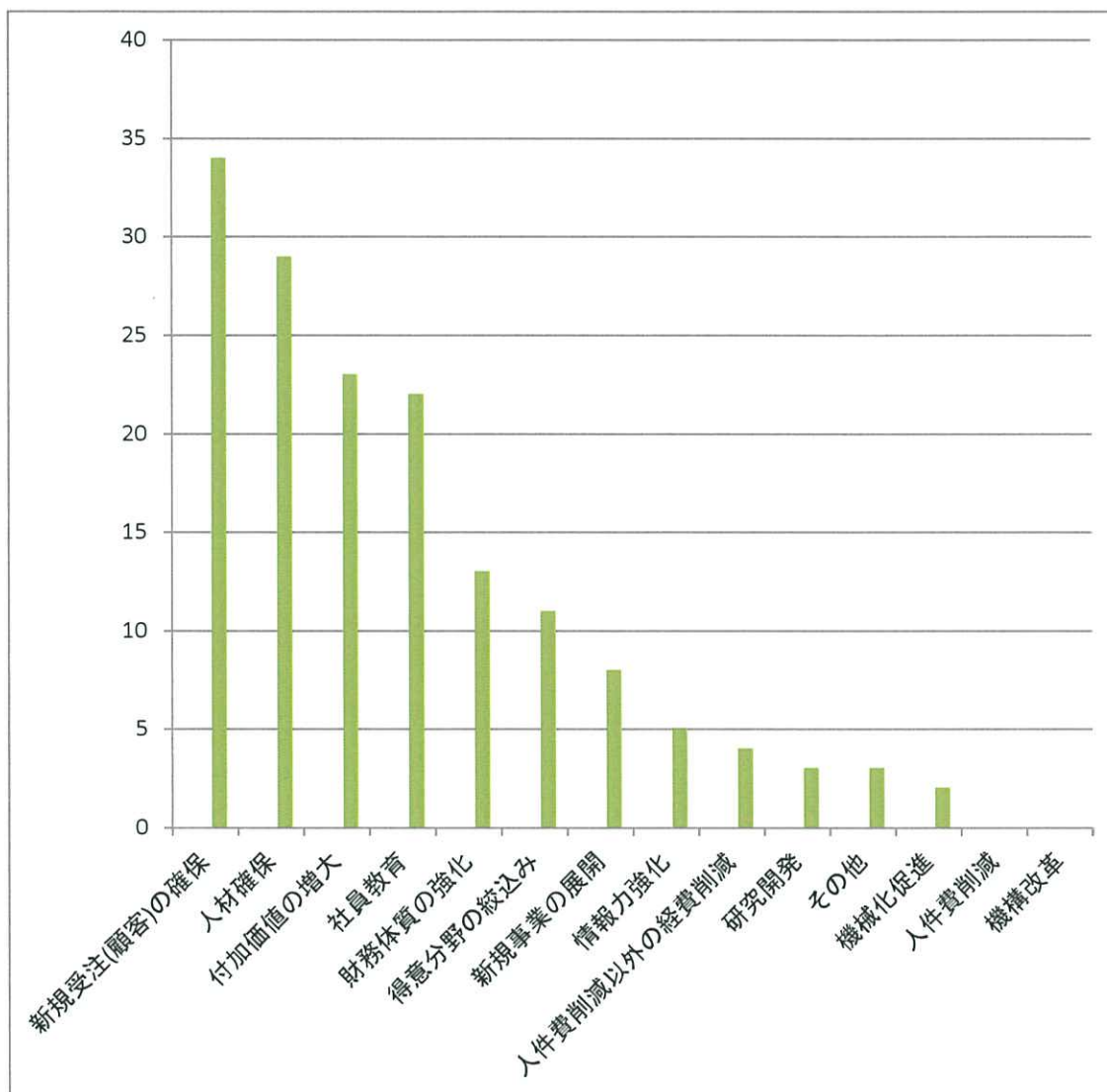


カテゴリー	件数	ウエイト
従業員の不足	36	26.1%
受注競争の激化	20	14.5%
価格競争の激化	17	12.3%
売上の減少	14	10.1%
人件費の増加	14	10.1%
仕入れ価格の上昇	10	7.2%
その他	10	7.2%
税負担の増加	9	6.5%
間接費の増加	6	4.3%
金利負担の増加	2	1.4%
事業資金の借入難	0	0.0%

138 100.0%

その他 職人不足(×2)、予算削減、業務の効率化、サービスの品質向上
 社員教育と人事制度、新規顧客の獲得、公共工事の受注減少
 社員採用と採用後の短期戦力化へのマニュアル・研修制度・昇給制度等の仕組み
 社内の生産性アップに関するビジネスモデルの確立

経営上の力点



カテゴリー	件数	ウエイト
新規受注(顧客)の確保	34	21.7%
人材確保	29	18.5%
付加価値の増大	23	14.6%
社員教育	22	14.0%
財務体質の強化	13	8.3%
得意分野の絞込み	11	7.0%
新規事業の展開	8	5.1%
情報力強化	5	3.2%
人件費削減以外の経費削減	4	2.5%
研究開発	3	1.9%
その他	3	1.9%
機械化促進	2	1.3%
人件費削減	0	0.0%
機構改革	0	0.0%

157 100.0%

その他 業務の効率化、お客様を大切に、利益率の向上

景気動向調査についてお尋ねします。

景気動向調査部会ではこれまで47回の景気動向調査を実施してきました。今後の活動やアンケートの参考に景気動向調査についての考えやご意見、ご要望等をお尋ねしたいと思います。記入欄にご記入をお願いします。

景気動向調査への考え

- ・引き続き継続希望(5件)
- ・良いことで、必要だと思います。(3件)
- ・同業種・他業種の動向を知る上に役立ちます。
- ・同業他社のみならず、他業種の状況を客観的に感じる事が出来るので鹿児島県の経済の今を見られる。
- ・経営を振り返る、先行きを考えるきっかけになる。自社の状況を他社と比較できる。
- ・景気を見通す力、予測力をつけることが出来る。
- ・景気動向調査を経営に活かす方法を考えたい。見通し等推察出来ればと思う。
- ・一応参考にする。傾向を知る。
- ・会議でその内容を伝えます。ほかで入手する動向調査結果も社員には伝えますが、より中小企業の業況を知るうえで役に立っています。
- ・調査だけに終わらせたくない。
- ・県内の経済情勢を知るうえで必要であり、実施の継続が重要と思います。
- ・もっと興味をもってもらおうと回収率が上がり、精度も上がると思います。
- ・鹿児島県の周りの動きが見えるので大変助かります。
- ・すみません。景気動向調査の存在を知りませんでした。

景気動向調査への意見

- ・取りまとめお疲れ様です。
- ・景気動向調査の肝は数であると思うので、より多くの会員企業に回答してもらいたい
- ・回答の仕方を、少し簡単にできないか。会員が読んでくれるようなものにできないか？
- ・できましたら、中同協のDORと質問をある程度合わせていただきたいです。
 1. 4半期に1回の調査
 2. 今期、前期、来期とかの質問は弊社にとっては、あんまり意味がございません。毎年3月の売上を最高にして決まったパターンで推移します。売上も利益も3月上がったとしても喜ばません。前年同期比でどうだったかが肝心です。それを踏まえたいうでの今期の景況感を回答する形にさせていただきたいです。
 3. 弊社は業種としてはソフトウェア(パッケージソフト)開発業です。サービス業でいいのか疑問視しながら回答しています。
- ・鹿児島同友会調査、全国同友会調査、他機関調査との比較と傾向を前面に出してもらえれば・・・。
- ・加えて分析の充実。
- ・動向に捕らわれず、自社の問題点・課題を明確にし何をすべきかを考え行動する。
- ・アンケートを提出するうえで、とても簡素で出しやすいと考えます。
- ・問題点、力点に対してどのように対応しているか。
- ・記名式なので回答がすくないのではないのでしょうか。
- ・調査が毎回同じ内容なのでもう少し具体的な調査もしても宜しいのかと思います。
- ・今回以降、内容把握に努めます。
- ・いつも参考にして行きたいです。

景気動向調査への要望

- ・今後も継続し、より多くの回答を得られるようにする方策を講じる必要があるのではと思う。
- ・調査会社・金融機関の方より、定期的に景気動向(業界動向)を聞きたい。
- ・部会からの発信をもっと強化し、解釈の仕方、見通しの仕方、など少人数でも例会(?)のような事を実施し、経営に活かせる方法をしてほしい。
- ・悲観的側面の主張が強すぎるのでバランス良く分析して欲しい
- ・一般的な傾向を知る指標であり、答えは自社にあり。
- ・もう少し調査協力が増えるといいですね。
- ・調査へのアンケートの結果をもとにグループ討論会をしてほしい。
- ・調査結果を送る際、景気動向の見立て、自社への役立て方があると興味を引くと思います。
- ・氏名・企業名の記入は不要にもらいたい
- ・今後の鹿児島県の景気動向が知りたい
- ・いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。(3件)
- ・新入会なので前回までの調査結果がわからないが、各業種ごとの調査結果が知りたい。
- ・今回以降、内容把握に努めます。